

助産師による「命の教育出前講座」事業

取組に至る背景・事業の目的

生命誕生を基本とした命の教育を実践し、子どもたちに命の大切さを認識してもらうとともに、自尊感情を高め、自分自身はもちろんのこと他者も大切にできるこどもの育成を図る。

また、活動を通じて、子育て支援・子育てしやすい環境づくりの一助となることを目指す。

事業内容

○「命の教育出前講座」

実物大の体験セット（子宮、胎盤、胎児の模型）を使った赤ちゃんの誕生の話や、「うまれてきてありがとう」の紙芝居の上演、助産師としての体験談を内容とした講座を開催した。

4月～3月 50講座 35団体 2,400人

○「いいお産の日」星空☆マタニティー

妊産婦相談、母乳相談、育児相談等の実施

11月3日（会場：長野県伊那文化会館）

事業効果

- 実物大の教材の使用により、「具体的によくわかった」という言葉を多くいただいた。また、小学生は「お母さんたちは、陣痛の痛みを耐え、私たちを生んでくれたことに、とても感謝の気持ちでいっぱいです」と感動した気持ちを素直に表現するなど大きな反響があった。平成21年度には、参加する助産師も増え、講座開催回数も増加し、活動が広がっている。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 助産師ならではの話を盛り込むとともに、見て触れて聞いてと、感覚に訴える実物大の効果的教材を活用し、メカニズムや日常生活に結びつけてイメージできる内容で、正しい情報をわかりやすく伝えるよう努力した。
- 小中高校生を対象にした講演会・授業形式以外にも、園児向け、母親向け、企業などさまざまな場で展開していきたい。
- 話を聞いてよかった、で終わらせないように、次のステップへ進めるような工夫をしていきたい。
- 生徒の個性や性格的なこと、家庭環境などで心傷ついている生徒のことも考慮しながら、どのように関わっていくのがよいかという課題もある。

【選定のポイント】

いのちの大切さと子どもの自尊心を育む事業であり、体験セットを活用したことで園児にもわかりやすい講座となった。今後、さらに活動の場が広がっていくことが期待できる。



【実物大の体験セット】



【出前講座の様子】

団体名	日本助産師会長野県支部上伊那地区 (伊那市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 電話 090-4925-3826	事業費	380,520円
		支援金額	380,000円